

北海道・東北地方を襲った一連の台風について

参考資料

○北海道への3つの台風の上陸、東北地方太平洋側からの上陸は、気象庁の統計開始以来初めて。

○台風10号では、石狩川水系空知川や十勝川水系札内川など2水系5河川において、堤防決壊や溢水等による浸水被害が発生した。また、道県管理河川では20水系38河川において、堤防決壊等による浸水被害が発生した。

被害状況

- 人的被害の状況
 - ・死者23名、行方不明者5名、重傷者2名、軽傷者15名
- 物的被害の状況
 - ・全壊502棟、半壊2,372棟、床上浸水303棟、床下浸水2,090棟
- 所管施設の状況
 - 河川
 - 【国管理】
 - ・北海道を中心に5水系12河川において、越水等により浸水被害が発生(台風第11号及び台風第9号等)
 - ・石狩川水系空知川や十勝川水系札内川など2水系5河川において、堤防決壊や溢水等により浸水被害が発生(台風10号)
 - 【道県管理】
 - ・道県管理の20水系56河川において、堤防決壊や溢水により浸水被害が発生(台風第11号及び台風第9号等)
 - ・道県管理の20水系38河川において、堤防決壊等により浸水被害が発生(台風第10号)

北海道内における主な被害状況



台風経路図



東北地方の県管理河川の主な被害状況



久慈市内 被害状況



小本川 被害状況



※本資料に記載されている数値や図表は速報値であり、今後、変更となる可能性がある。

中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方について

参考資料

< 諮問内容 >

この夏、北海道・東北地方を襲った一連の台風による被害を踏まえ、気候変動の影響もあり水害の頻発化・激甚化が懸念され、かつ人口減少下における社会情勢の中、中小河川等における水防災意識社会再構築を如何に進めていくべきか。

○ 水害の特徴

【H27関東・東北豪雨災害】

- 多くの住宅地を含む広範囲かつ長期間にわたる浸水
- 堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流失 ○ 多数の孤立者の発生



【H28北海道・東北豪雨災害】

- 二級河川や一級河川の支川で堤防決壊などに伴う甚大な被害が発生
- 中山間地域の要配慮者利用施設で入所者の逃げ遅れによる被害が発生
- 橋梁など重要インフラの被害や農業被害が復旧復興に深刻な影響

○ メンバー（大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会）

- 委員長 小池俊雄（東京大学大学院工学系研究科教授）
- 委員 久住時男（新潟県見附市長）
- 清水義彦（群馬大学大学院理工学府教授）
- 関根正人（早稲田大学理工学術院教授）
- 多々納裕一（京都大学防災研究所教授）
- 田中 淳（東京大学総合防災情報研究センター長）
- 田村圭子（新潟大学危機管理本部危機管理室教授）
- ※敬称略 五十音順

～ 中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方～

- 中小河川等における緊急時の対応について
 - ・ 確実な避難勧告の発令 など
- 中小河川等における平常時からの備えについて
 - ・ 平常時のリスク情報の公表 など
- 中小河川等における激甚化、頻発化する局地豪雨、集中豪雨を踏まえた治水対策について
 - ・ 守るべき資産が点在する中小河川の中山間地域における治水対策 など
- 災害復旧、水防活動等に対する都道府県・市町村への支援について
 - ・ 早期復旧に対する支援 など

